別添４２

令和3 年 4 月 1 日

就労継続支援Ａ型　基本報酬に関する届出書

及び自己評価結果等の公表に係る届出書

１　事業所情報

事業所番号	4017701493								
事業所名称	サクラ邸								
事業の種別	●	就労継続支援Ａ型	指定年月日	平成29	年	4	月	1	日

２　公表状況

公表の有無	●	有		無	公表年月日	令和3	年	4	月	15	日
公表方法（該当するものに●）	●	ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）									
		ＵＲＬ	http://sakura-c.co.jp/								
		その他　（具体的な方法を記載してください）									
		具体的な方法									

３　基本報酬算定区分　　※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
●	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし（経過措置対象）

評価事項	評価内容	スコア
Ⅰ労働時間	四時間三十分以上五時間未満	45
Ⅱ生産活動	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者支払う賃金の総額以上である	25
Ⅲ多様な働き方	合計点が八点以上である	35
Ⅳ支援力向上のための取組	合計点が八点以上である	35
Ⅴ地域連携活動	実施あり	10
	スコア合計（評価点）	150 点

備考　・　パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添４２－１の各様式を用いて行ってください。
地域貢献活動の報告書の公表については、別添４２－２の様式を使用してください。

令和3　年　4 月　1 日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	サクラ部
住　所	北九州市小倉南区湯川新町一丁目14番66号
電話番号	093-482-3006

事業所番号	4017701493
管理者名	坂口　香子
対象年度	令和2年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		45
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満	●	
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		点

①80点　②70点　③55点　④45　点　⑤40点　⑥30点　⑦20点　⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		25
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		点

①40点　②25点　③20点　④5点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

◎	①免許・資格取得、検定の受検勤務に関する制度	35
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●
◎	②利用者を職員として登用する制度	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●
◎	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●
◎	④フレックスタイム制に係る労働条件	
	就業規則等で定めている	●
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	⑤短時間勤務に係る労働条件	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
◎	⑥時差出勤制度に係る労働条件	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●
	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
	就業規則等で定めている	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	小計（注1）	9 点

（※）任意の５項目を選択すること　（注1）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	35
	参加した職員が１人以上であった	
	参加した職員が半数以上であった	●
◎	②研修、学会等又は学会誌等において発表	
	１回の場合	
	２回以上の場合	
◎	③視察・実習の実施又は受け入れ	
	どちらか一方のみの取組を行っている	
	いずれの取組も行っている	●
◎	④販路拡大の商談会等への参加	
	１回の場合	
	２回以上の場合	●
◎	⑤職員の人事評価制度	
	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している	●
	⑥ピアサポーターの配置	
	ピアサポーターを職員として配置している	
	⑦第三者評価	
	過去３年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。	
	⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等	
	都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた 規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
	小計（注2）	0 点

（※）任意の５項目を選択すること　（注2）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	●	10 点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	45
生産活動	5点		20点		25点		40点		25
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計
150 点　／２００点

指定就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（個別項目）

Ⅰ　平均労働時間　45 点

実績として評価する年度　令和元　年度

月	延べ労働時間数		延べ利用者数	
４月	2051.5	時間	474	人
５月	2434.75	時間	553	人
６月	2382	時間	536	人
７月	2815.5	時間	644	人
８月	2963.25	時間	642	人
９月	2485	時間	530	人
１０月	2667.75	時間	582	人
１１月	2617.75	時間	556	人
１２月	3060.25	時間	645	人
１月	2643.25	時間	583	人
２月	2203.75	時間	484	人
３月	2590	時間	580	人
合計	**30914.75**	**時間**	6809	**人**

評価内容

就労継続支援Ａ型等のあった日の属する年度の前年度（以下、「前年度」という）において、当該就労継続支援Ａ型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援Ａ型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援Ａ型事業所等における一日当たりの平均労働時間数

			スコア
	一	七時間以上	80
	二	六時間以上七時間未満	70
	三	五時間以上六時間未満	55
●	四	四時間三十分以上五時間未満	45
	五	四時間以上四時間三十分未満	40
	六	三時間以上四時間未満	30
	七	二時間以上三時間未満	20
	八	二時間未満	5

１日の平均労働時間数 （延べ労働時間数÷延べ利用者数）	4.5	時間

Ⅱ　生産活動　0 点

実績として評価する年度　令和２　年度及び　令和元　年度

		生産活動収入 （Ａ）	生産活動に係る経費 （Ｂ）	生産活動収支 （Ａ）-（Ｂ）＝（Ｃ）	利用者賃金総額 （Ｄ）
令和2	年度	37,700,000	466,167	37,233,833	34,264,967
令和元	年度	27,085,824	480,968	26,604,856	29,381,203

評価内容		前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支（生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額）	スコア
	一	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
●	二	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
	三	前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
	四	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ　多様な働き方　35 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点（五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。）

※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入

				取組の具体的な内容
イ	◎		①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
		1	就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検勧奨 に関する制度を活用した人数1名 ※取得を進めた免許等：普通自動車 〇〇〇 制度の活用内容：一般就労 利用者の送迎及び多様な用事 〇〇〇
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ロ	◎		②利用者を職員として登用する制度	取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎職員として登用した人数2名 ◎うち2名は雇用継続期間が６月に達している ◎うち2名は前年度末日まで雇用継続している ※登用した日　令和2年8月1日　令和2年10月1日 勤務形態：短時間 就業時間：　9時00分～14時00分 職務内容：職業指導員
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ハ	◎		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎在宅勤務を行った人数3名 ※実施した期間：6月9日～9月30日 就業時間（在宅勤務）：10時00分～15時00分 職務内容：飛行機のイヤホン洗浄　タオル類の畳作業
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ニ	◎		④フレックスタイム制に係る労働条件	取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎フレックスタイム制を活用した人数●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間(コアタイム)：●時●分～●時●分 職務内容：〇〇〇
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ホ			⑤短時間勤務に係る労働条件	取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎短時間勤務に従事した人数●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（短時間）：●時●分～●時●分 職務内容：〇〇〇
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ヘ	◎		⑥時差出勤制度に係る労働条件	取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎時差出勤制度を活用した人数8名 ※実施した期間：4月1日～3月31日 就業時間（早出の場合）：9時00分～14時00分 就業時間（遅出の場合）：11時00分～15時00分 職務内容：施設外就労
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ト			⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎時間単位取得を活用した人数●名 ◎計画的付与制度を活用した人数●名 ※取得した制度　有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：●月●日～●月●日 取得日数・時間　●日　●時間
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
チ			⑧傷病休暇等の取得に関する事項	取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数●名 ※取得した内容:　〇〇〇 取得した期間：●月●日～●月●日 就業時間：　●時●分～●時●分 職務内容：〇〇〇
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	

合計点　9 点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
0	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅳ　支援力向上のための取組　15 点

前年度（トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間）において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数（以下この事項において「合計点」という。）**※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入**

イ	◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
		1	参加した職員が１人以上であった	◎研修実施回数外部　●回／内部　2回 対象職員数　8人 うち研修受講者数　5人 ※研修名 自立支援フォーラム2020 研修講師奥　大脇・横田 実施日・受講者数3月7日5人
	0	2	参加した職員が半数以上であった	
		0	実績なし	
ロ	◎	②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	発表している回数●回 ※研修、学会等名〇〇〇 実施日●月●日 ※学会誌等名〇〇〇 掲載日●月●日 発表テーマ〇〇〇
		2	２回以上の場合	
	●	0	実績なし	
ハ	◎	③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
		1	どちらか一方のみの取組を行っている	※先進的事業者名株式会社アルサ 実施日/ 参加者数8月12日1人 ※他の事業所名いきいき倶楽部 実施日/ 参加者数11月4日3人
	●	2	いずれの取組も行っている	
		0	実績なし	
ニ	◎	④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	※商談会等名 2020年リネンＳＳ及びＡＷ商談会 主催者名（株） レイウッド 日時6月1日　10月6日 内容リネン類の畳作業及び洗濯機械の設置した場合の効率化
	●	2	２回以上の場合	
		0	実績なし	
ホ	◎	⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
	●	2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	人事評価制度の制定日2年4月1日変更最新 人事評価制度の対象職員数4名 うち昇給・昇格を行った者1名 当該人事評価制度の周知方法 就業規則
		0	実績なし	
ヘ		⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容
		2	ピアサポーターを職員として配置している	※配置期間　●月●日～●月●日 就業時間 職務内容〇〇〇
		0	実績なし	
ト		⑦第三者評価		取組の具体的な内容
		2	過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	※評価を受けた日●月●日 第三者評価機関〇〇〇
		0	実績なし	
チ		⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		取組の具体的な内容
		2	都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	※認証を受けた日●月●日 規格等の内容〇〇〇
		0	実績なし	

合計点　2　点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
0	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅴ　地域連携活動　　10　点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計４つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容

前年度において、当該就労継続支援Ａ型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。

報告書の作成	●	有		無	※次ページに添付	
企業等からの意見等	●	有		無		
公表の有無	●	有		無		
公表方法	●	ホームページに掲載	（アドレスを記載してください）			
		ＵＲＬ	http://sakura-c.co.jp/			
		その他	（具体的な方法を記載してください）			
		具体的な方法				

別添４２－２

令和　３　年　４　月　１　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	サクラ邸
住　所	北九州市小倉南区湯川新町一丁目14番66号
電話番号	093-482-3006

事業所番号	4017701493
管理者名	坂口香子
対象年度	令和2年度

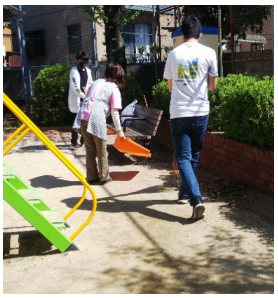
地域連携活動の概要

＜活動内容＞
活動場所　リネン工場・湯川校区清掃作業
実施日程　4月1日から3月31日
実施した生産活動・施設外就労の概要　洗濯機械の操作から商品の投入・仕上げまでの作業
利用者数　10～20名

＜目的＞
地域連帯活動のねらい　湯川校区の清掃奉仕により、地域への障害者施設の存在感及び障碍者施設への理解
地域へのメリット　町内会の清掃業務の応援及びボランティア活動
対象者のメリット　ボランティア活動の成果と喜び

＜成果＞
実施した結果　町内会の役員様からの感謝の言葉。
得られた成果　1.近隣住民からの飲食物等の提供をして頂いた、利用者の喜び。
2.地域や企業様より喜んで頂けた事により達成感と就労意欲が上がった。

＜活動の様子＞



連携先の企業等の意見または評価

①　施設外就労・・・新型コロナウイルスにより一般雇用が困難な状況化でサクラ邸の多くの障害者の方々の就労により、取引先の企業の信用度、信頼度を得、過大なる評価と大きな感謝をいただいた。

②　清掃活動・・・校区の会長・副会長・老人会会長より感謝の言葉を頂いた。

連携先企業名	（株）レイウッド	担当者名	立石　恵子